

E10 東九州自動車道 臼杵IC～津久見IC間の のり面災害に関する技術検討委員会 ～第1回技術検討委員会の結果について～

E10 東九州自動車道は、台風10号の大雨の影響により、8月29日(木)に切土のり面の崩落が発生し、臼杵インターチェンジ(IC)～津久見IC間で通行止めとなっており、通行再開には期間を要する見込みです。

安全性の確認や復旧方法の検討のため、西日本高速道路株式会社は、有識者による「東九州自動車道 臼杵IC～津久見IC間のり面災害に関する技術検討委員会」を立ち上げ、検討を行っているところです。

昨日開催した第1回技術検討委員会の結果について、以下のとおり、お知らせいたします。

1. 日 時 令和6年9月3日(火) 17:00～18:20
2. 場 所 西日本高速道路(株)九州支社 会議室
3. 結果概要 別紙1のとおり
4. 委 員 別紙2のとおり

東九州自動車道 臼杵 IC～津久見 IC 間

のり面災害に関する技術検討委員会

第1回の結果概要

1. 被災概要

○切土のり面(延長約 300m)のうち、約 30m の 2 段目及び 1 段目(高さ約 12m)において崩落が発生。

2. 審議内容

○地下水や表面水の浸入により、のり面の風化が促進され、台風 10 号による大雨によりのり面周辺からの表面水が集積し、すべり面が形成されたことが崩落に至った原因であることを確認した。

○崩落したのり枠や土砂を撤去後に、地山の状況を確認のうえ、のり面对策工を行うことを確認した。

3. 今後の予定

○今週末より、崩落したのり枠や土砂の撤去工事を開始。

○その後、現地にて地山の状況を確認のうえ、第2回技術検討委員会を開催し、のり面の復旧内容を決定予定。

以上

E10 東九州自動車道 臼杵 IC～津久見 IC 間 切土のり面の崩落状況

E10 東九州自動車道

臼杵 IC～津久見 IC 間 切土のり面の崩落



— : 通行止め区間
 X : 被災箇所

【災害状況写真】



【技術検討委員会開催状況】



東九州自動車道 臼杵IC～津久見IC間のり面災害に関する技術検討委員会

笠間 清伸 九州大学大学院 工学研究院 教授

工藤 宗治 大分工業高等専門学校 都市・環境工学科 准教授

○ 三谷 泰浩 九州大学大学院 工学研究院 教授

三保木 悦幸 国土交通省 九州地方整備局 道路部長

(○ 委員長)

(50音順、敬称略)